

障害のある人もない人も共に生きる社会へ

みんなでつくる

# 共生社会

毎年12月3日～9日は障害者週間です。

～共に生き、共に考える、明日を～

全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するためには、障害及び障害のある人に対する国民の理解と関心を広く深める必要があります。

政府では、毎年12月3日～9日を「障害者週間」と定め、障害のある人の自立と社会参加の支援等に関する活動をはじめ、様々な取組・行事を行うこととしています。

## 内閣府における障害者週間関連行事について

### 「障害者週間」作品展

令和7年12月3日（水）～9日（火）10：00～20：00  
会場：東京ビル TOKIA  
1階西側ギャラリー（貫通通路）

### 「障害者週間」ワークショップ

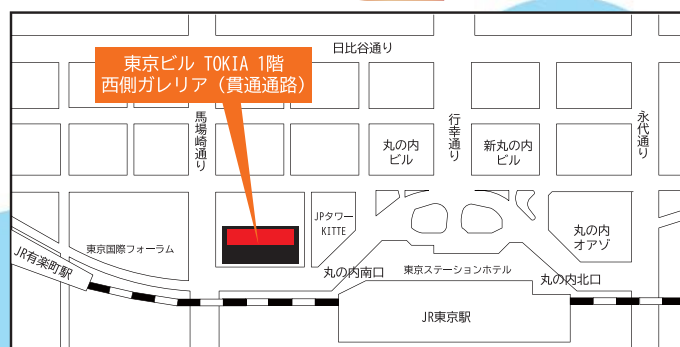
令和7年12月6日（土）7日（日）  
10：00～17：00（最終受付 16：30）  
会場：東京ビル TOKIA  
1階西側ギャラリー（貫通通路）

### 「障害者週間」オンラインセミナー

令和7年12月3日（水）～26日（金）  
配信場所：内閣府ホームページ

### 国、地方公共団体等における障害者週間関連行事について

毎年、障害者週間の期間を中心に、国及び地方公共団体等が、障害者週間の趣旨に沿った障害のある人の自立と社会参加の支援等のための様々な取組を実施します。  
詳しくは、内閣府ホームページに掲載しています。是非、お近くのイベント・行事等にご参加ください。



東京ビル TOKIA 1階 西側ギャラリー（貫通通路）

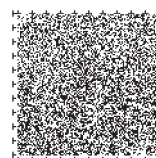
住所 東京都千代田区丸の内2-7-3

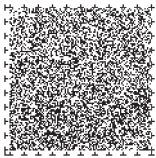
- アクセス
- ・JR「東京駅」丸の内南口徒歩1分
  - ・丸の内線「東京駅」地下道経由徒歩3分
  - ・千代田線「二重橋駅」3番出口徒歩5分
  - ・JR「有楽町駅」東京国際フォーラム口徒歩5分
  - ・有楽町線「有楽町駅」A4b出口徒歩5分
  - ・三田線「日比谷駅」B3出口徒歩7分
  - ・東西線「大手町駅」B1出口徒歩10分
  - ・半蔵門線「大手町駅」A5出口徒歩10分

備考：作品展及びワークショップについては、一時、立ち入りを制限する可能性があります。  
係員の誘導に従ってください。



内閣府ホームページ：  
<https://www8.cao.go.jp/shougai/kou-kei/index-kk.html>





1

## 「障害者週間」作品展

入場無料

全国から募集した「障害者週間のポスター」の全推薦作品の原画（72点）及び「心の輪を広げる体験作文」の最優秀賞作品（4編）を展示します。

日時 令和7年12月3日(水)～9日(火) 10:00～20:00

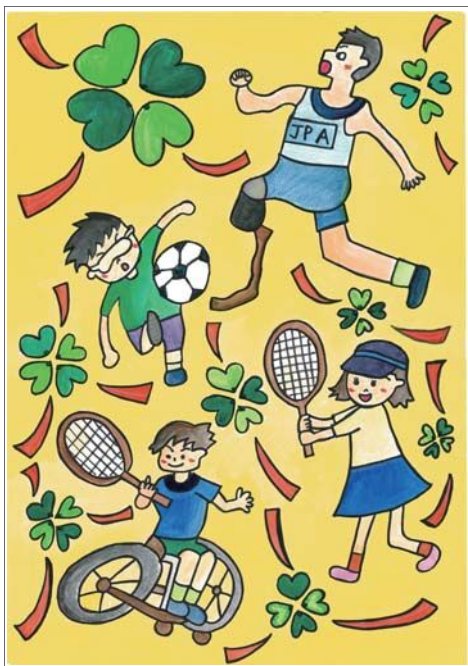
主催 内閣府

会場 東京ビル TOKIA 1階西側ギャラリー（貫通通路）

※表紙もご覧ください。

## 令和7年度「障害者週間のポスター」最優秀賞作品

小学生区分

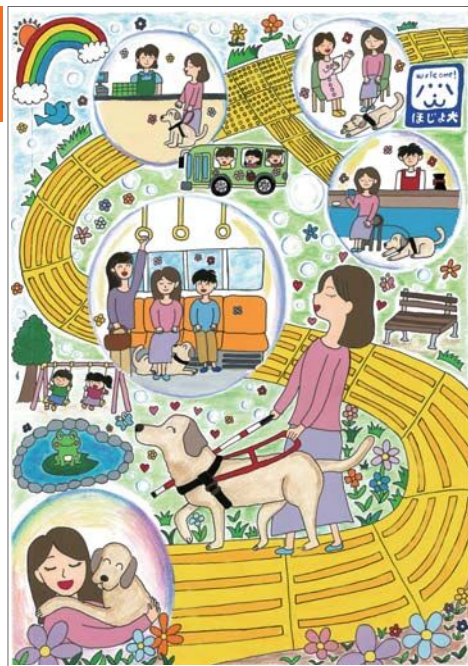


「みんなでスポーツ」

木村 咲音 さん

長崎県推薦 大村市立放虎原小学校5年

中学生区分



「私があなたの目になるよ」

早乙女 奈穂 さん

栃木県推薦 栃木市立栃木東中学校1年

## 令和7年度「心の輪を広げる体験作文」最優秀賞作品

心の輪を広げる体験作文 審査講評 令和7年度「心の輪を広げる体験作文」審査委員会委員長 関哉 直人

小学生区分

「人間の力ベ」

吉本 りさ さん

さいたま市推薦 さいたま市立東大成小学校5年

障害のある姉が商業施設で発作で横になった際、多くの人が通り過ぎる中で、対応してくれた看護師と、周りから見えないように壁になってくれた一組の家族とのやり取りが描かれています。描写が書き手目線で浮かび上がり、その場にいた人たちの心の通い合いが伝わる感動的な作品です。最後にそのとき言えなかった御礼の言葉が述べられ、書き手の家族に対する思い、人に対する優しさが、言葉の一つ一つから伝わってきます。

中学生区分

「ありのままの私を受け入れてくれたあなたへ」

笹原 遥 さん

熊本県推薦 熊本県立黒石原支援学校3年

不登校になり行き始めたデイサービスで出会った茶道の先生に対する書き手の感謝の気持ちが書かれた作品です。ありのままの書き手を認め先生がかける言葉と、それに対して心からの感謝を述べる書き手の描写に心震わされます。障害のあるなしにかかわらず、認めてもらっている、大切にされていると思える関わりが尊敬であることを再認識させられる内容であり、その表現力にも驚かされます。

高校生区分

「障害とともに」

笠立 絵莉 さん

熊本市推薦 トライ式高等学院（熊本駅前キャンパス）2年

小学1年生から現在まで、書き手が強迫性障害の様々な症状と向き合ってきた姿が臨場感を持って描かれています。その経験の中で、不安障害に対する周囲の正しい理解や声掛けの大切さを知ったこと、「気にしすぎ」や「考えすぎ」といった声掛けはかえって当事者を苦しめることが書かれています。見えにくい障害が対峙する社会の「無理解」という「障害」の意味を考えさせ、正しい理解と相手を尊重することの大切さを教えてくれる作品です。

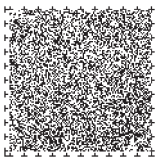
一般区分

「日常」

栗生 智津子 さん

和歌山県推薦

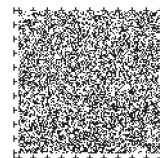
発達障害と場面緘黙症のある息子さんと向き合う中で、障害をどのように捉えたらいいかという葛藤が描かれています。水族館で息子は生物に興味を示さず、心躍らせたのは非常階段のピクトグラムであった、しかしそれだと思えるようになったのは葛藤からの解放であり、苦難を彩りとする書き手の視点の変化を感じました。一人一人違うのだからそんなことは当たり前、そこに優劣はなく違いを認め合う関係でいたという書き手の、深く広がりのある愛情を感じる作品です。





## 2 「障害者週間」 ワークショップ

参加無料



体験をテーマに、障害の特性を知っていただくための様々なワークショップを開催します。

**日時** 令和7年12月6日(土) 7日(日) 10:00~17:00 (最終受付 16:30)

**主催** 内閣府

**会場** 東京ビル TOKIA 1階西側ガレリア(貫通通路)

※ワークショップに関するお問い合わせは令和7年度「障害者週間」関係事業事務局まで直接ご連絡ください。

※表紙もご覧ください。

※出展内容及び出展時間は変更となる可能性がございます。

### 出展内容のご紹介

#### 木製スプーン制作体験

公益財団法人日本知的障害者福祉協会  
奈良県の会員事業所で製作している  
木製スプーンを制作する体験コーナー

6 (Sat)

7 (Sun)



#### 啓発キャラバン隊

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会

知的・発達障害の理解を深める  
「啓発キャラバン隊」の取組み  
をご紹介します！

6 (Sat)

7 (Sun)



#### 盲導犬・介助犬・聴導犬デモンストレーション

公益財団法人日本盲導犬協会  
社会福祉法人日本介助犬協会  
認定NPO法人兵庫介助犬協会・千葉介助犬協会  
公益社団法人日本聴導犬推進協会  
NPO法人日本補助犬情報センター

6 (Sat)

7 (Sun)

デモンストレーションやブース  
展示を実施

6 (Sat)

15:00

7 (Sun)

①10:30

②14:10



#### デフ陸上体験

6日には東京2025デフリンピック  
陸上競技出場の坂田翔悟選手が登場！  
デフ陸上スタート体験も実施！

6 (Sat)

7 (Sun)



トークショー  
16:00

#### 車いすレーサー体験

パラ陸上で使用するレーサータイプ  
の車椅子を体験できる！

6 (Sat)

7 (Sun)



#### ボッチャ体験

レクリエーションタイプの的あて  
ボッチャを体験！

6 (Sat)

7 (Sun)



#### AIスーツケース展示体験

日本科学未来館

視覚障害者の移動を支援する自律型  
ナビゲーションロボット「AIスーツケース」  
の展示体験

6 (Sat)

7 (Sun)



#### 手話歌パフォーマンス

Nyanko

ダンサー、モデルとしても活躍中の  
聴覚障害者の手話歌パフォーマー

7 (Sun)



13:30

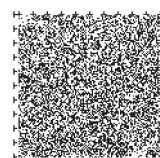
#### ユニバーサルトークショー

特定非営利活動法人ユニバーサルイベント協会  
年齢、障害の有無に関わらず、みんなが  
一緒に暮らせる社会の実現を目指して実  
施している「ユニバーサルキャンプ」な  
どをエピソードを交えたトークショーを実施

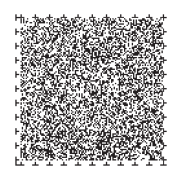
7 (Sun)



①11:30 ②15:10



デジタルクイズラリーや展示も行います。



3

## 「障害者週間」オンラインセミナー

視聴無料

障害及び障害のある人に関する理解を促進するため、オンライン配信により、障害者週間の趣旨にふさわしいセミナーを各団体が開催します。

- 視聴は無料です。 ※通信費は自己負担となります。
- 講演内容に関するお問い合わせは各セミナーの主催団体まで直接ご連絡ください。
- 視聴に関するお問い合わせは内閣府までご連絡ください。

配信期間 令和7年12月3日(水)～26日(金)

主 催 各団体等

配 信 URL <https://www8.cao.go.jp/shougai/kou-kei/r07shukan/main.html#seminar>



## 1 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会

<https://www.jsrpd.jp/>

デジタル教科書「マルチメディアデージー教科書」による発達障害児の読み支援  
ー ネット配信でさらに便利になったマルチメディアデージー教科書の活用法 ー

【T E L】03-5273-0601  
【F A X】03-5273-1523  
【e-mail】soumu@dnf.ne.jp

発達障害のある児童・生徒にとって、マルチメディアデージー教科書がどのように「読み」の支援となるかを解説します。申し込み・利用方法に加え、ネット配信機能によって向上した利便性についてもご紹介します。ネット配信により、生徒自身が教科書を操作できるようになり、教員の負担軽減にもつながった実例を共有します。

## 2 一般社団法人Togetherland

<https://togetherland.com/>

みんなが主役！インクルーシブなインクルマルシェレポート～共生社会の実現に向けて～

【T E L】092-552-8181  
【F A X】092-725-8643  
【e-mail】togetherland@gmail.com

「インクルマルシェ」という取り組みの実例を、写真やエピソードを交えながら紹介します。「インクルマルシェ」は、日常の延長線上にある買い物（マルシェ）という場が、障害のある人やない人、いろんな人が出会い、お互いにやりとりする中で、困ったり、工夫したり、いろんな体験をする場所になり、優しい共生社会への道となることを目指しています。

## 3 旅するロービジョン

X: @tabi\_low

0でも1でもない ロービジョンの世界

【T E L】080-3381-0629  
【e-mail】tabi.lowvision@gmail.com

見えにくさと共に生きる「ロービジョン」の世界を、当事者のリアルな体験談を交えてご紹介。見え方の多様性に触れ、視覚障害を自分ごととして感じられるようになれば、日常の景色や人との関わり方がきっとやさしく変わります。

## 4 特定非営利活動法人全国言友会連絡協議会

<https://www.zengenren.org/>

ことばの教室に通えない吃音のある小学生の支援

【T E L】03-6908-6333  
【F A X】03-6908-6345  
【e-mail】info@zengenren.org

送迎が困難という理由で、ことばの教室に通えない吃音のある子は少なくありません。吃音はからかいの対象になりやすく、不登校などの二次的問題に発展することもあるため、適切な支援が不可欠です。本セミナーでは、ことばの教室に通えない小学生に対して、保護者や教員ができる、具体的な手立てをご紹介します。

## 5 一般社団法人日本手話文化協会

<https://jslca.fujino-official.com/>

聞こえない世界とつながる～手話が生み出す共生社会～

【e-mail】contact@jslca.fujino-official.com

この講義は、5つのステップ（1.知る2.理解する3.関わる4.相互理解5.共生社会）を元に、耳が聞こえない人のリアルを知り、だれもが相互に人格と個性を尊重し、支えあう多様なあり方を認め合う全員参加型の共生社会へとつなげていきます。

## 6 国立大学法人筑波技術大学

<https://www.tsukuba-tech.ac.jp/>

多様性から生まれるイノベーション～共生社会への投資がもたらす未来

【T E L】029-858-9311  
【F A X】029-858-9312  
【e-mail】kouhou@ad.tsukuba-tech.ac.jp

社会の多様化が進む中で、障害や様々な特性を持つ人々の社会参加の重要性が高まっています。しかし、これらの人々の持つ潜在能力や視点を十分に活かしている場合は、まだまだ少ないのではないのでしょうか？本セミナーでは、企業や組織が「戦略的強み」として多様な人々の視点を取り入れていくことの重要性について指摘し、共生社会の価値を再発見できる機会にできればと考えています。

## 7 公益社団法人日本発達障害連盟

<https://jldd.jp/>

“ふつつ”ってなんだろう？～多様な生き方が交わる社会へ～

【T E L】03-5814-0391  
【F A X】03-5814-0393  
【e-mail】info@jldd.jp

“普通”という基準に合わせるのではなく、一人ひとりの違いを大切にすることが求められています。互いの個性や特性を尊重し、多様性を力として育むことが、これからの社会を豊かにすると考えます。

## 障害者週間に関するお問い合わせ

内閣府政策統括官（共生・共助担当）付  
障害者施策担当  
〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1  
TEL：03-5253-2111（代表）

令和7年度「障害者週間」関係事業事務局  
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-20-7 末広ビル3F  
株式会社セレスポ 東京支店内  
TEL：03-5944-5199 FAX：03-5394-7654  
Email：s-syukan@cerespo.co.jp

